

事務事業名		志布志城跡史跡公園保存整備事業				担当課	生涯学習課						(3) 指標の推移		2年度 3年度 4年度 5年度 6年度 7年度								
						担当係	埋蔵文化財係								活動指標 (実施状況)		単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)
						予算科目	会計	款	項	目	備考			(実績)	(実績)	(実績)							
まちづくりﾌﾟﾗﾝ (基本目標)	振興計画体系	5	<教育・文化>心豊かで志あふれる人づくりと伝統・文化のまち				予算科目	1	10	4	6		ア	整備を行った場所	箇所	1	1	1	1	1	1	1	1
(個別目標)	3	文化を守り・育み・つなげるまち				主な費目	委託料						イ										
(施策)	2	伝統文化の保存・継承及び歴史遺産の保存・活用				対象	国指定史跡 志布志城跡 (内城、松尾城)						成果指標 (成果・効果)		単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)		
(基本目標)	総合戦略	4	魅力的で、安心して暮らせるまちをつくる										ア	志布志城跡見学者	人	2,000	2,000	2,500	3,000	3,000	3,000		
(施策)	5	観光パワーアッププロジェクト				事業期間	平成15年度～ 年度 (年間)						イ										
(1) 総事業費の推移		単位	2年度		3年度		4年度		5年度		6年度		7年度		(4) 評価		所管課による評価						
			(実績・決算)		(実績・決算)		(実績・決算)		(計画・予算)		(計画・予算)		(計画・予算)										
年間 トータル コスト	事業費	国県支出金	千円												有効性 評価	・市民のニーズ ・事業の効果 ・政策との整合性 ・事業を廃止の影響 ・類似事業との連携 ・公平性 保存整備を目的に発掘調査を実施することは、志布志城跡の歴史的価値を解明することになる。そのことが、志布志城跡が地域の貴重な文化財であるということの普及・啓発につながり、さらには、志布志城跡が後世へ保存・継承されることにもなる。							
		その他特定財源	千円																				
		一般財源	千円	493	429	495	500	500	500														
		事業費計 (A)	千円	493	429	495	500	500	500														
		所要人員 (年間)	人	0.150	0.150	0.150	0.150	0.150	0.150														
		人件費概算 (B)	千円	840	840	840	840	840	840														
	(A) + (B)	千円	1,333	1,269	1,335	1,340	1,340	1,340															
(2) 事業概要																							
事業目的	南九州を代表する中世山城である志布志城跡を史跡公園として活用を図る。																						
事業内容	国指定史跡である志布志城跡について、史跡公園として活用を図るための整備を行う事業であるが、一時整備を休止しており、整備を再開するまで維持管理を行う。																						
開始経緯	志布志城跡の保存整備が歴史のまちづくり事業のリーディングプロジェクトとして位置づけられ、本調査の調査成果に基づく史跡公園としての保存整備を行うこととなったため。																						
実施状況	12月から3月の間に、内城跡の雑木伐採等業務委託を実施している。																						
成果	内城跡東側斜面の雑木伐採を3月に実施した。																						
課題	志布志城跡の活用のために史跡整備を実施する予定ではあるが、財政的な事由により事業費が削減されている。																						
達成度評価 ・数値目標 ・目指す状況 ・実現性 ・情勢・環境の変化 ・事業期間 改革改善案 拡充 ○ 現状維持 改善 効率化 廃止終了																							

令和 5 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 5 年 7 月 1 日作成

事務事業名		考古資料管理調査研究事業（埋蔵文化財発掘調査事業）		担当課		生涯学習課		(3) 指標の推移		2年度		3年度		4年度		5年度		6年度		7年度		
				担当係		埋蔵文化財係				活動指標（実施状況）		単位		（目標） （実績）		（目標） （実績）		（目標） （実績）		（目標） （実績）		（目標） （実績）
まちづくりプラン （基本目標）	振興計画体系	5	<教育・文化>心豊かで志あふれる人づくりと伝統・文化のまち	予算科目	1	10	1	2	備考	ア	整理作業員延べ人数	人	234	120	360	420	360	300				
（個別目標）	3	文化を守り・育み・つなげるまち	主な費目	報酬、職員手当等、印刷製本費		イ																
（施策）	2	伝統文化の保存・継承及び歴史遺産の保存・活用	対象	整理作業及び報告書作成が必要な考古資料		成果指標（成果・効果）	単位	（目標） （実績）		ア	新たに整理された考古資料数	箱	15	10	20	20	10	10				
（基本目標）	総合戦略	4	魅力的で、安心して暮らせるまちをつくる	事業期間	年度～ 年度（ 年～ 年間）		イ															
（施策）	5	観光パワーアッププロジェクト																				
(1) 総事業費の推移		単位	2年度 (実績・決算)	3年度 (実績・決算)	4年度 (実績・決算)	5年度 (計画・予算)	6年度 (計画・予算)	7年度 (計画・予算)	(4) 評価		所管課による評価											
年間 トータル コスト	事業費	国県支出金	千円						有効性 評価	・市民のニーズ ・事業の効果 ・政策との整合性 ・事業を廃止の影響 ・類似事業との連携 ・公平性	発掘調査を実施した場合、出土遺物を整理して調査報告書を作成（記録保存）しなければならないが、これは文化財保護法に基づいて実施している。考古資料を整理、調査研究、保管していくことは、地域の貴重な文化財を保存・継承することに結びついている。											
		その他特定財源	千円																			
		一般財源	千円	1,615	970	2,493	4,818	3,729													3,729	
		事業費計 (A)	千円	1,615	970	2,493	4,818	3,729													3,729	
		所要人員 (年間)	人	0.825	0.375	1.230	1.625	1.425													1.425	
		人件費概算 (B)	千円	4,620	2,100	6,888	9,100	7,980													7,980	
	(A) + (B)	千円	6,235	3,070	9,381	13,918	11,709	11,709														
(2) 事業概要												効率性 評価	開発事業に伴って発見された考古資料の整理作業や調査報告書作成、管理であるため、削減は困難である。正職員と会計年度任用職員の必要最小限の人数で対応している。									
事業目的	開発事業などに伴う発掘調査によって発見され、市埋蔵文化財センターに受け入れた考古資料を整理、調査研究し、市民に対してわかりやすいように活用する。																					
事業内容	開発事業に伴う分布調査、試掘調査、確認調査、本調査によって、市内で発見・出土した考古資料の整理作業や調査報告書作成、管理を行う事業である。埋蔵文化財包蔵地（遺跡）は現在、514遺跡（令和5年4月1日現在）。																					
開始経緯	埋蔵文化財の保管及び活用を適正に行うため、そして報告書が刊行されていない遺跡の整理作業や調査報告書作成を行うために開始された。																					
実施状況	令和4年度は6ヶ月間実施した。なお、会計年度任用職員の一人が育児休暇のため、活動指標と成果指標の実績が減少した。										達成度 評価	太陽光発電施設建設やほ場整備事業などの開発事業に伴う試掘調査・確認調査は減少しておらず、それに伴い市埋蔵文化財センターで受け入れる考古資料も増えている。										
成果	令和3年度末に発掘調査報告書を刊行した原田古墳群の遺物収納作業を行った。また、平成21年度に不時発見に伴う緊急発掘調査を実施した中牟田遺跡の整理作業を行った。																					
課題	特に課題はない。																					
改革改善案	<table border="1"> <tr> <td>拡充</td> <td>○</td> <td>現状維持</td> <td>改善</td> <td>効率化</td> <td>廃止終了</td> </tr> </table>																					拡充
拡充	○	現状維持	改善	効率化	廃止終了																	

令和 5 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 5 年 7 月 1 日作成

事務事業名		志布志市埋蔵文化財センター企画展示会開催事業		担当課	生涯学習課				(3) 指標の推移		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度									
				担当係	埋蔵文化財係				活動指標 (実施状況)		単位	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)								
まちづくりアソシエーション (基本目標)	振興計画体系	5	<教育・文化>心豊かで志あふれる人づくりと伝統・文化のまち	予算科目	会計	款	項	目	備考	ア	企画展開催数	件	2	2	2	2	2								
				1	10	1	2		1				1	2											
				1	10	4	6																		
				主な費目				印刷製本費・報酬等																	
				対象				市民																	
(個別目標)	総合戦略	3	文化を守り・育み・つなげるまち	対				成果指標 (成果・効果)				単位	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)							
(施策)			2	伝統文化の保存・継承及び歴史遺産の保存・活用	対				ア				企画展の年間入館者数	人	2,000 1,172	1,500 1,308	1,500 2,304	1,500	1,500	1,500					
(基本目標)			4	魅力的で、安心して暮らせるまちをつくる	対				イ				総入館者数	人	3,000 2,086	2,500 3,024	3,000 4,371	3,000							
(施策)			5	観光パワーアッププロジェクト	事業期間				平成25年度～ 年度 (年間)																
(1) 総事業費の推移			単位	2年度 (実績・決算)	3年度 (実績・決算)	4年度 (実績・決算)	5年度 (計画・予算)	6年度 (計画・予算)	7年度 (計画・予算)	(4) 評価		所管課による評価													
年間トータルコスト	事業費	財源内訳	千円						有効性評価	市民のニーズ ・事業の効果 ・政策との整合性 ・事業を廃止の影響 ・類似事業との連携 ・公平性	市民に対して志布志の歴史を紹介することで、その大切さと文化財保護意識を啓発し、さらには「伝統文化を守り育み、時代へつなげる人づくりのまち」にもつながっている。														
		国県支出金	千円																						
		その他特定財源	千円																						
		一般財源	千円	1,128	835	843	857	857									857								
		事業費計 (A)	千円	1,128	835	843	857	857									857								
		所要人員 (年間)	人	0.300	0.700	0.700	0.700	0.700									0.700								
人件費概算 (B)	千円	1,680	3,920	3,920	3,920	3,920	3,920	3,920	効率性評価	事業効果向上 ・事業費削減 ・事務の効率化 ・費用対効果 ・財政負担の必要性 ・関係者との連携	企画展チラシの印刷代や休日管理職員の報酬など、必要最小限の経費で事業実施している。例年「志布志のひな人形展」は、市観光ガイドとの共催で実施している。														
(A) + (B)	千円	2,808	4,755	4,763	4,777	4,777	4,777																		
(2) 事業概要		事業目的		志布志の歴史や文化財に関連した企画展を開催することにより、市民に郷土の歴史や文化財の大切さを理解してもらう。また、市外の方々には志布志の歴史や文化財の良さを理解してもらう。													達成度評価	数値目標 ・目指す状況 ・実現性 ・情勢・環境の変化 ・事業期間	目標年間入館者数を上回っていることから、郷土の歴史・文化財に興味をもつ市民が増加していると考えられる。また、市外からの入館者も多く、観光客の増加にも貢献している。						
事業内容		市埋蔵文化財センターにおいて企画展を実施する。																							
開始経緯		平成25年に志布志市埋蔵文化財センターが開館し、その展示室の活用のために、志布志市内の文化財や歴史について取り上げた企画展を開催することになった。																							
実施状況		令和4年度は、9月6日から1月15日に「元小結千代鳳 不屈・不倒の相撲人生」を開催した。2月21日から3月12日に、「志布志のひな人形展」を開催した。																							
成果		令和4年度は、4,371人の入館者である。						改革改善案	拡充	○ 現状維持	改善	効率化	廃止終了												
課題		特に課題はない。																							

令和 5 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 5 年 7 月 1 日作成

事務事業名		市内遺跡確認調査事業（国庫補助）		担当課	生涯学習課				(3) 指標の推移		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度									
				担当係	埋蔵文化財係				活動指標（実施状況）	単位	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)									
まちづくりアクト （基本目標）	振興計画体系	5	<教育・文化>心豊かで志あふれる人づくりと伝統・文化のまち	予算科目	会計	款	項	目	備考	ア	発掘調査作業員延べ人数	人				90	90	90							
（個別目標）	3	文化を守り・育み・つなげるまち	主な費目	報酬、消耗品費、委託費												300	120	180							
（施策）	2	伝統文化の保存・継承及び歴史遺産の保存・活用	対象	埋蔵文化財（遺跡）	成果指標（成果・効果）	単位	(目標) (実績)		(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)										
（基本目標）	総合戦略	4					魅力的で、安心して暮らせるまちをつくる	ア	調査成果が公表された遺跡数	件					0	8	0								
（施策）	5	観光パワーアッププロジェクト	事業期間	令和5年度～令和8年度（4年間）		イ																			
(1) 総事業費の推移		単位	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	(4) 評価																
			(実績・決算)	(実績・決算)	(実績・決算)	(計画・予算)	(計画・予算)	(計画・予算)	所管課による評価																
年間トータルコスト	事業費	国庫支出金	千円			1,002	1,890	1,470	有効性評価	・市民のニーズ ・事業の効果 ・政策との整合性 ・事業を廃止の影響 ・類似事業との連携 ・公平性	開発行為等によって破壊される埋蔵文化財（遺跡）の発掘調査を行い記録保存することは、文化財保護法に基づいて実施している。埋蔵文化財の記録保存を行い、調査成果を公表することで、埋もれていた地域の歴史を市民に知ってもらうことにつながる。														
		その他特定財源	千円																						
		一般財源	千円			1,477	1,890	1,470																	
		事業費計 (A)	千円	0	0	2,479	3,780	2,940																	
		所要人員 (年間)	人			1,200	1,200	1,425																	
		人件費概算 (B)	千円	0	0	6,720	6,720	7,980																	
	(A) + (B)	千円	0	0	9,199	10,500	10,920																		
(2) 事業概要																									
事業目的	ほ場整備に伴い、平成26・28年度・令和元年度に国庫補助による確認調査を実施した前畑遺跡ほか8遺跡の調査報告書を刊行して、調査成果を公表する。国指定名勝志布志麓庭園の整備事業に伴い、福山氏庭園（福山氏邸）と平山氏庭園（石峯寺跡）の確認調査を行い、整備事業に役立てるとともに、調査報告書を刊行して調査成果を公表する。																								
事業内容	確認調査を実施した前畑遺跡ほか8遺跡から見つかった遺物等の整理作業を実施して、調査報告書を刊行する。福山氏邸と平山氏庭園（石峯寺跡）の確認調査を実施し、整理作業を行って、調査報告書を刊行する。																								
開始経緯	ほ場整備事業に伴い前畑遺跡ほか8遺跡について、遺跡の有無や範囲・性格等の把握を行い関係機関との協議・調整のための情報を得るための確認調査を実施した。国指定名勝志布志麓庭園の整備事業に伴い、福山氏邸は増改築の有無等を、平山氏庭園は寺院関係の遺構・遺物の有無等を確認する目的で確認調査を行うことになった。																								
実施状況	前畑遺跡ほか8遺跡の整理作業と出土石器の実測図等作成業務委託を実施する。福山氏庭園と平山氏庭園の確認調査を実施する。																								
成果	<table border="1"> <tr> <td>改革改善案</td> <td>拡充</td> <td>○</td> <td>現状維持</td> <td></td> <td>改善</td> <td></td> <td>効率化</td> <td></td> <td>廃止終了</td> </tr> </table>															改革改善案	拡充	○	現状維持		改善		効率化		廃止終了
改革改善案	拡充	○	現状維持		改善		効率化		廃止終了																
課題	特に課題はない。																								